

令和6年度 循環型社会を実現する環境教育推進事業 事業実績書

【学校名】日南市立東郷小学校

1 活動の概要

本校では、SDGsの視点に基づいて、小中連携して環境に優しい活動を行った。特に小学校では、施設見学を中心に環境教育を推進して環境に対する意識を高めるとともに、今後の生活に活かせる児童の育成を目指した。

2 SDGs の視点

「1 貧困をなくそう」「9 産業と技術革新の基盤をつくろ」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任 つかう責任」「14 海の豊かさを守ろう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和7年2月28日

1 学校の概要

校区内は、太平洋が一望できる地区と川沿いに田畠が広がる地区があり豊かな環境に囲まれている。

本校は、平成25年4月に東郷小学校と東郷中学校が合併して小中一貫校として開校した。現在小学生165名、中学生99名、計264名の児童生徒が在籍している。入学式や卒業式運動会等の学校行事は合同で実施し一貫校ならではの教育課程を組んでいる。田植えや稲刈り、サトウキビ収穫、さとねり体験など地域と連携した体験学習を多く取り入れている。

2 活動のねらい

本校の児童が児童会活動や地域との協働を通して、SDGsを意識した環境に優しい活動を主体的に行う。様々な活動や環境改善に学習を行うことで環境に対する意識を高め、今後の生活に活かせる児童を育成する。また、この活動の取組や成果を校内外に発信して、広めていく。

3 活動内容

(1) 風田浜クリーン活動

アカウミガメの産卵地である風田浜の清掃

ボランティア活動をPTA、地域の方々と共に行った。木やゴミ、ペットボトルを集め、浜をきれいに清掃することができた。



(2) 廉油石鹼づくり

廉油石鹼づくりは、給食調理場で使用した廃油を使用した。夏休みに小学5年生から中学3年生のボランティアで活動して、牛乳パックや給食で使ったゼリーのカップで型を作った。



(3) 「服のチカラ」プロジェクト

「服のチカラ」プロジェクトは不要になった子供服を回収し、難民の方に届ける活動で、3年前から参加している。学校外でも市内の公共施設や中学校にも協力してもらい、1855枚の服を回収した。回収した服は中学生が朝のボランティアで、小学生が昼休みに色分けを行った。



(4) 腐葉土づくり

11月から校内の落ち葉を集めて、腐葉土づくりに取り組んでいる。つくった腐葉土は、学校で育てている金柑畑の土壤改良に活用する予定である。



(5) 空港で SDG sを探そう（2年）

宮崎空港で太陽光発電システムについて学習した。実物の大きな太陽光発電パネルを見て、空港の照明やエスカレーター、エレベーターなどに使用されていることや二酸化炭素を減らすことに役立っていることを学んだ。



(6) 県立博物館見学（3年）

県立博物館に展示されている資料を見学して、昔と今の暮らしのエコの違いを見る学習を行った。特に昔の家の中にある囲炉裏やはんてんに興味を持った。



(7) 富吉浄水場見学

富吉浄水場を見学して、安心して飲める水を供給するためのしくみについて学習した。その中で森林が果たす役割についての説明を聞き、その後の社会科の授業で再度森林環境を守るために何が必要なのかを学んだ。



4 成果と課題

(1) 成果について

- 施設見学では、各学年テーマに沿った学習に児童たちは意欲的に取り組んだ。2年生は、プラのマークをきちんと見てゴミの分別をすること、3年生は、昔と今の暮らしのメリットとデミリットを比べ、昔の環境に優しい工夫について知ることができた。4年生は、水道水を供給のしくみを知り、森林環境の大切さを知ることができた。

(2) 課題について

- 児童・生徒会が主体的に活動する中で中学生に頼ってしまうことが多かった。小学生がもっと活躍できる場の設定を構築する必要がある。
- 施設見学を多く取り入れたが、交通費など面を考えると来年度以降の計画が難しい。経費がかからない工夫も必要である。

学校名：日南市立東郷小学校

住 所：日南市大字東弁分乙22番地

電話番号：0987-23-1478